

市民の暮らしを守る質問を展開

商店向けリニューアル助成を！ 上野議員一般質問



問／従業員数平均2.8人、うち家族従業員数平均1.5人というごく小規模の事業者の経営実態を調べてみると、極めて厳しい経営を強いられているということが明らかになった。この状況の中で消費税が増税されると、こうしたごく小規模の事業者は、事業継続が困難になり一気に倒産や事業閉鎖に追い込まれることは明かだ。経営実態と増税を市長はどう見ているか。

答／消費税引上げ前の駆け込み需要の反動による個人消費や設備投資等の下押し、景気の腰折れが心配。翌年10月にはさらなる引き上げも予定されているので、これまでの経験では押し量

ことのできない部分もある。

問／住宅リフォーム促進事業は、この3年間で補助件数2800件に対して2.5億円の補助金を投入し、直接的な工事金額だけでも12～14倍の経済効果があった。事業継続をすべきではないか。

答／新年度予算編成の中で適切に対処したい。

問／高崎市で行っている商店リニューアル助成事業は、小規模商店に歓迎されている。仕事づくりにも役立つ。市内循環型事業でもある。

答／非常に反響の大きい事業だと承知している。本質的な活性化につながるか疑問も残るが、現在、担当部署で研究を行わせている。

問／平均落札率が高く、再入札になった場合の一位不動の割合も高い。こういう実態については落札業者の強い受注意欲と企業努力の結果と見ているのか。

答／いろいろな見方があるが、基本的には現行の制度のなかで適切な業務が執行されていると見ている。

問／一市民からガス水道局発注工事の入札について資料をいただきたい。ある会社が平成24年に公取委に談合を報告した資料だ。談合は



談合疑惑を赤裸々に指摘

少なくとも平成18年4月から平成23年6月まで行われていたことや、その他参考となるべき事項が書かれている。(中略)「入札参加はしたものの、当時調整役をしていたK社Y社長、S社S会長により、入札金額を自由に入れられない状況でした」(中略)「平成23年5月までは、予定価格が事前公表だったの

で、落札予定者は予定価格の95%以下の数字で応札し、その他の業者は、予定価格の95%以上で応札していました」などとあった。入札結果と照らし合わせてみたが、これらは作られたものではない。事実関係はびたりと合っている。この点についてどういう感想を持ったか。

答／具体的な内容であったと思うが、初めて聞いた。内容が事実であるとすれば由々しき内容だと思う。

問／いま読み上げたもの以外にもショッキングなデータがいくつかある。談合した日、時間、場所、そしていつの入札のためにということも書かれている。平成22年は合計24回ある。上越市の(入札

において)今までのことだと思

問／最低制限価格ギリギリの札(価格)を入れるには、制限価格がわかっていないとできない。誰かがこの情報を流している可能性もある。調査して議会に報告されたい。

答え／その内容に基づいてつぶさに調査する。

問／最低制限価格ギリギリの札(価格)を入れるには、制限価格がわかっていないとできない。誰かがこの情報を流している可能性もある。調査して議会に報告されたい。

答／確認したが、本件についてはなかったと聞いている。

指導員の研修充実を 放課後児童クラブで 平良木議員一般質問



問／児童クラブで、子どもたちが目的にかなった過ごし方ができるかどうかは、指導員の役割が重要。そのためには十分な指導員の配置や労働時間に加え、十分な研修機会を保障することが必要だが、実態はどうか。

答／年2回の一斉研修のほかに、指導主事が回って個別に指導している。初任者への新任研修は

これまで十分ではなかったので、今後充実させるよう、計画している。

問／現場からは、施設や設備の充実など、多くの要望を聞いた。どう対処する考えか。

答／指導員の皆さんから要望を上げていただければ、適正に対処するので、細かい要望を含めて大いに上げてほしい。

問／冬季の雪囲いで玄関以外の非常口が不備などところがあるというが、どうか。

答／個別に調査して、そのようなことがないようにする。

日本共産党上越市議員団ニュース
No. 390 2013年12月22日

連絡先
橋爪 法一 090-5392-1961 (吉川区代石)
上野 公悦 090-7260-9407 (頸城区中柳町)
平良木 哲也 090-1808-6919 (上中田)